

第44回大崎上島町公共交通連携協議会 議事要旨

【開催概要】

日 時 令和6年8月28日(水) 13時30分～14時20分

場 所 大崎上島町役場本庁 2階大会議室

出席者 20名

団体名	職名等	氏 名	出席者
広島商船高等専門学校	流通情報工学科教授	岡山正人(議長)	○
さんようバス株式会社	代表取締役社長	土井俊斉	○
さんようバス株式会社	従業員代表	佐村 優	○
尾道地区旅客船協会	事務局長	柳井裕志	○
山陽商船株式会社	代表取締役専務	日浦徹治	○
大崎汽船株式会社	代表取締役	川本公夫	○
大崎上島町議会	議長	信谷俊樹	○
大崎上島町連合区長会	副会長	山田泰三	○
大崎上島交通問題協議会	会長	閑田大祐	○
大崎上島町商工会	会長	信谷 裕	○
大崎上島町社会福祉協議会	会長	有田卓也	○
大崎上島町地域女性連合会	会長	田房明美	○
大崎上島町観光協会	会長	中原幸太	○
中国運輸局尾道海事事務所	首席運輸企画専門官	築山泉美	○
中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	薦 真	○ (web)
広島県地域政策局	公共交通政策課長	丸石圭一	○ (代理 河越信二郎)
竹原警察署	大崎上島分庁舎長	田山陽次	○ (代理 向井大輔)
大崎上島町	副町長	小田 博(会長)	○
大崎上島町	地域経営課長	三村竜也	○
大崎上島町	建設課長	藤原通伸	○

傍聴者 無し

【議 事】

1. 開 会

<事務局より、開会宣言>

2 議 題

(1) 報告事項

①大崎上島町における公共交通の再編に係る説明会の開催結果について

事務局	<資料説明>
議 長	ただいまの説明につきまして、ご質問等ありましたらお願いします。
委 員	住民説明会を3回実施されていますが、それぞれの会場の参加人数がわかれば教えてもらえますか。
事務局	7月9日に開催した東野文化センターの参加者は39人です。12日の大崎上島開発総合センターでは24人、木江公民館では7人で、計70人の参加がありました。
事務局	補足させていただきます。説明会はそれぞれの地区で実施しましたが、お住まいの地区にかかわらず、どの会場へも参加可能と設定しました。また開始時間についても、9日の東野地区では19時から、12日は大崎地区では14時、木江地区では19時からといった形で、お昼にしか参加できない方にも配慮した形で開催しました。
委 員	ちなみに70名の方で、実際にアンケート調査に回答した方が説明会に参加されたかどうか把握されていますか。
事務局	アンケート調査は無作為抽出で行いましたので、個別に回答者は把握していません。

②行政連絡会の協議状況について

事務局	<資料説明>
議 長	ただいま事務局から説明がありましたが、本件についてのご意見、ご質問等はございますか。
各委員	<意見なし>
議 長	無いようですので、本件については終了いたします。

(2) 協議事項

①おと姫バスの運行条件の見直しについて

事務局	<資料説明>
議 長	ありがとうございました。具体的な内容を説明してもらいましたが、ご質問等がございましたらよろしくお願いします。
委 員	デマンドバスは利便性がすごく高いですから、現在の100円は安すぎるのではないかと思います。定時定路線のおと姫バスを200円、デマンドバスを300円にすれば平均的ではないでしょうか。
議 長	料金の話が出ましたが、例えば、300円になると急速に需要が減るというイメージを持たれている方はおられませんか。

委 員	運行に係る概算経費がどのようになっているのかを教えてください。例えば、運賃を100円から200円にすると収入はどうなるのか。経費との差し引きでいくらマイナスになるのか。これまでの実績を踏まえて、数値化すればわかりやすいのではないかと思います。
議 長	すぐお答えできるかわかりませんが、可能な範囲で回答をお願いします。
事務局	数値について、前回の協議会でお示ししている内容になりますが、値を丸めてご説明すると、通常のおと姫バスは委託料が大体2,950万円程度、収入は150万円です。デマンドバスについては、数字自体はありませんが、全体で指定管理として依頼している経費が大体5,200万円から5,300万円です。デマンドの運賃収入が上がってきている状況ですが、赤字額は、経費と運賃収入との差し引き額になります。今、口頭で説明できる範囲としては、こういった状況です。
議 長	またお示いただくことは可能ですか。
事務局	数字については改めて、運賃が200円、300円になったときに、何らかの補助制度が適用できるかといったことも対比させながら示すことが出来ればと考えています。
委 員	運賃が300円になると、往復だと600円にもなります。広島叡智学園の生徒がたくさん利用していますが、200円でも厳しいという声も聞きます。 高速船の休止によって5,000万円規模の赤字が浮くことになりますが、そこはどうお考えですか。
議 長	高速船の赤字補填分が浮くので、バスで多少赤字が増えても許容できるのではないかというお話ですね。
事務局	浮いた赤字補填額を丸々陸上交通に補填するという訳ではなく、路線バスの時刻の編成等も含めて有効に使っていく予定です。高速船の赤字分の5,500万円で全て補うという解釈ではないことをご理解いただきたいと思います。
委 員	学生に関しては、割引制度も検討してもらえればと思います。
事務局	そういったことも含めて、秋口頃には事業者と調整して、料金設定についてお示ししたいと考えています。
議 長	料金について、本校の学生が調べたところ、広島商船高専の学生は200円を容認する意見が割と多かった一方で、広島叡智学園ではできれば避けたいという意見が多かったと記憶しています。 乗降ポイントの設定については、歩行できる程度の300mをイメージして設置するというのは、非常にきちんと整理された考え方だと思います。一般的には、300mから400mが歩行可能距離と言われています。ただ、少し気になっているのは町内に起伏がある点であり、場所によっては同じ300mでもかなり大変なところがあるかと思います。また高齢者が多いため、高齢者の歩行距離もイメージしてもらえればよろしいかと思います。70歳を超えると200mにした方がよいという話を聞いたことがあります。300m、400mはグラウンドを1周回するようなもので、夏場は我々でも結構大変です。地形と高齢者のことも少し頭に置いて、全部が上手くいくとは思いませんが、例えば坂道が多い場所では250mと考えてみるといったことも検討いただければと感じました。私からは以上

	です。他に無いようでしたらこの件については終了します。
--	-----------------------------

(3) その他

議 長	その他について何かございますか。
委 員	現在、大型台風が向かってきています。こうしたことを踏まえ、計画運休でなく、運休の可能性があるかもしれないということを、事前に町主導で町内放送していただくような対応ができたらと思います。すぐに実施できないと思いますが、今後検討していただければありがたいです。
議 長	フェリーも含めて公共交通全般ということですね。
委 員	バスは風速25mで運休します。
委 員	海上交通は風速15mに達する恐れがあるときに運休しますが、船長の主観的な判断も入りますので、15mきっかりで止めるということではありません。
委 員	風速15mというのは、それ以上になれば動いてはいけないと理解された方が良いでしょう。それ以下の風速であろうと、安全が確保できない場合は運航を取りやめることがあります。
議 長	委員がおっしゃっているのは、基準を逸脱しているということではなくて、皆に伝えて欲しいという意見です。
委 員	運休するかもしれないということを、町と連絡を取っていただければと思います。
委 員	運航を休止するタイミングは、事業者間で情報交換しながら歩調を合わせるようにして、なるべく町内放送をしていただいています。ちょうどその時に遠出されていて、竹原まで帰るのが間に合わないこともあるかもしれませんが、当社もホームページには掲載していますし、山陽商船もメール配信などで周知されています。
委 員	メール配信がギリギリすぎるというご意見はいただいたことがあります。当社としてはなるべく動かせるなら動かしたいという思いもありますが、「数十分後に止まりますと言われても困る」というお叱りを受けたことがあります。なるべく前広に対処していきたいと思います。
会 長	台風に関する注意喚起の町内放送をする際には、船が運休する可能性があることを一言入れるようにします。
議 長	最近JRが早め早めに計画運休を発表して、全般的に会社等も早めに切り上げるということになりつつあります。 他は何かありますか。無いようですので、本日の議事は以上とさせていただきます。

3. 閉会

以 上